

点描ぐんま経済

日銀支店長

見聞録

44

私が子どもの頃、近所でお祭りがあると、なぜだかウキウキした。普段は買い食いを認めてくれなかった親が、この時だけは買い食いを認めてくれた。また、歌詞の詳しい内容は分からなかったが、盆踊りの音楽がどことなく懐かしい感じがした。あと、夜に外を歩くことはあまりなかったので、暗い夜道を堂々と歩けることがうれしかった。大学生になって、政治学の授業で、「ハレ」

お祭りの効用

ウキした理由が分かったような気がした。お祭りは「非日常」だったんだ。あと、「祭り」の語源は、神事において神様に仕え祀る(祭祀)や、神様に供え奉る(奉納)からくる「祀り」や「奉り」が変化したものらしい。

伝統や郷土愛継承

ではないか。今年の夏は、前橋七夕祭り、渋川へそ祭り、藤岡まつり、高崎まつり、桐生八木節まつり、沼田まつり、さらにはみんな楽しい。こうしたお祭りが今後も続くことを願っている。今度はどうして変遷してきたのか、このお祭りに行こうかな？



岡山和裕(おかやま・かずひろ) 1969年7月生まれ。兵庫県出身。東京大法学部卒。92年日本銀行に入り、業務局統括課長、決済機構局業務継続企画課長、情報サービス局総務課長などを経て、2018年4月から現職。

(非日常)と「ケ」(日常)の話聞いた。その時に、お祭りにウキ

た。そして、群馬県。群馬県は祭りが多いの

命にPRされてきたおかげだと思いが、どこのお祭りも人がいっぱい

かあ、こうして伝統文化や郷土愛や絆が代々継承されていくのか、と思った。

時が過ぎ、結婚して家族とお祭りに行くことが多くなったが、息子が楽しそうにしているのを見て、昔を思い出すことが多くなった。

つり、前橋花火大会、いせさき花火大会と、各地のお祭りにお邪魔した。

各地のお祭りの実行委員会の方々が一生懸命にPRされてきたおかげだと思いが、どこのお祭りも人がいっぱい

大いに貢献しているのではないか。

加えて、子どもたちが笛を吹いたり、太鼓をたたいたり、鐘を鳴らしたり。おそらく、

これまでの練習が大変だったと思うが、そこ